

「ふくし」って
なあに？



ふだんの

くらしを

しあわせに

高齢者や子ども、
しょうがいがある人、
仕事ができなくなった人など
みんな、だれもが
一人ひとり自分らしく生活で
きるように支えていく。



バリアフリーとユニバーサルデザイン

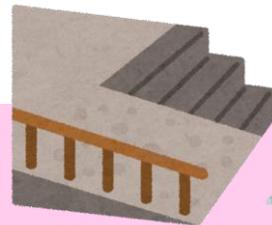
〈バリアフリー〉

ふべん むずか

「不便だな」「難しいな」をなくして生活しやすくすること

だんさ

たとえば...段差をなくす、手すりをつける

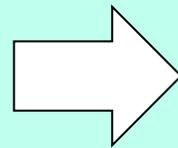


〈ユニバーサルデザイン〉

みんなが分かりやすく、使いやすいもの

たとえば...シャンプーボトルの突起

↓目を閉じていても気づきやすいから



目の不自由な人のふくし

もう

盲…全く見えない

じゃくし

弱視…目が見えにくい



生活でむずかしいこと

- ・ じぶんのいる場所がどこかわからない
- ・ だれに話しかけられているかわからない など

使うもの

はくじょう てんじ もうどうけん
白杖 ・ 点字 ・ 盲導犬

気をつけること

- ・ いきなり話しかけない
- ・ 道にものを置かない

耳の不自由なひとのふくし

むずかしいこと

聞く、会話がスムーズにいかない など

使うもの（道具）

ほちょうき じまく
補聴器、字幕、紙に文字を書く、
手話

気をつけること

周りの音をすべてひろう
人の聞こえに合わせて調整が必要になる

ほちょうき
補聴器とは

- ・周りの音を拾って大きくして聞こえやすくする道具
- ・大きな声でなくても聞こえる



足の不自由な人のふくし

いどう

移動がむずかしい



- ・立つ
- ・歩く
- ・すわる
- ・かいだんの上り下り△



【つかう道具】ほこうき
・車いす ・つえ ・歩行器
など

【気をつけること】

- ・床に物をおかない
- ・こまっていたら声をかける
⇒周りの大人に知らせる

高齢者のふくし

どんな人？

耳が聞こえにくい
いろんなことを知ってる

目が見えにくい
足が不自由

昔のことをよく知っている高齢者の長所をいかす
できないことをお手伝いして
いやな思いをしない生活を送れるように支える

人として大切にされる
生きたいと思う気持ちを上げる

